

教 養 教 育 履 修 手 引

令 和 2 年 度

群 馬 大 学

令和2年度 教養教育等学年暦

前 学 期								後 学 期							
日	月	火	水	木	金	土	行事等	日	月	火	水	木	金	土	行事等
4	5	6	7	8	9	10	11	10	11	12	13	14	15	16	17
12	13	14	15	16	17	18	19	18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	5/1	2	3	25	26	27	28	29	30	31	4
5	6	7	8	9	10	11	12	11	12	13	14	15	16	17	18
13	14	15	16	17	18	19	20	15	16	17	18	19	20	21	22
21	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	29
28	29	30	7/1	2	3	4	5	29	30	12/1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	7/1	2	3	4	5	27	28	29	30	31	1/1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	14	3	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	24
26	27	28	29	30	31	8/1	8/2	24	25	26	27	28	29	30	31
8	9	10	11	12	13	14	15	31	1/1	2	3	4	5	6	7
16	17	18	19	20	21	22	23	7	8	9	10	11	12	13	14
23	24	25	26	27	28	29	30	14	15	16	17	18	19	20	21
30	31	9/1	2	3	4	5	6	21	22	23	24	25	26	27	28
9	10	11	12	13	14	15	16	28	3/1	2	3	4	5	6	7
13	14	15	16	17	18	19	20	7	8	9	10	11	12	13	14
20	21	22	23	24	25	26	27	14	15	16	17	18	19	20	21
27	28	29	30	31	10/1	2	3	21	22	23	24	25	26	27	28
授業回数	15	15	15	15	15	15	15	28	29	30	31	11/1	2	3	4
期末試験	1	1	1	1	1	1	1	授業回数	15	15	15	15	15	15	15
計	16	16	16	16	16	16	16	期末試験	1	1	1	1	1	1	1
行事予定	4/1: 英語プレイズメントテスト 4/2・8: オリエンテーション(全学) 4/7: 入学式							行事予定	1/28: 統一英語試験						
休講日								休講日	1/15: 大学入学共通テスト準備のため授業休講 1/28: 統一英語試験のため授業休講						

〔授業時間表〕

時限	始 業	終 業
1～2	8時40分	10時10分
3～4	10時20分	11時50分
5～6	12時40分	14時10分
7～8	14時20分	15時50分
9～10	16時00分	17時30分

〔備考〕

<p>△ は期末試験を示す。</p> <p>☀ は月曜日の授業とする。</p> <p>○ は予備日(補講)とする。</p> <p>◇ は統一英語試験を示す。</p>	<p>☆ は水曜日の授業とする。</p>
--	----------------------

目 次

◎ 教養教育等学年暦	5 文化講演会……………28頁
◎ 教養教育について	6 海外短期研修について……………28頁
I 群馬大学の教養教育……………1頁	7 統一英語試験について……………28頁
II 履修関係……………2頁	8 ALC NetAcademy NEXT ……29頁
1 授業科目……………2頁	◎ 諸手続
(1) 教養基盤科目(学士力育成)……………3頁	I 学生の窓口……………31頁
① 学びのリテラシー(1)……………3頁	1 学生センター……………31頁
② 学びのリテラシー(2)……………3頁	2 各学部の学生関係の窓口……………31頁
③ 英語……………3頁	3 担任教員・チューター……………31頁
④ スポーツ・健康……………3頁	II 諸手続……………32頁
⑤ データ・サイエンス……………3頁	1 休学、復学、欠席等について……………32頁
⑥ 就業力……………3頁	2 ロッカールームについて……………32頁
(2) 教養育成科目……………4頁	III 履修手続……………33頁
① 人文科学科目群……………4頁	1 履修登録に関する注意……………33頁
② 社会科学科目群……………4頁	2 履修登録の手順……………33頁
③ 自然科学科目群……………4頁	◎ 学内ネットワーク(教育用端末、無線LAN)
④ 健康科学科目群……………4頁	の利用等
⑤ 外国語教養科目群……………4頁	学内ネットワーク(教育用端末、無線LAN)
⑥ 総合科目群……………4頁	の利用……………39頁
(3) 開放専門科目……………5頁	全学Gmailの活用について……………40頁
2 教養教育科目等の単位の基準……………6頁	◎ 建物配置図
3 履修基準・履修方法……………7頁	荒牧地区建物配置図……………41頁
(1) 共同教育学部生……………8頁	教養教育教室等配置図……………42頁
(2) 社会情報学部生……………10頁	共同教育学部教室等配置図……………44頁
(3) 医学部生(医学科)……………12頁	社会情報学部教室等配置図……………44頁
(4) 医学部生(保健学科)……………14頁	総合情報メディアセンター研究室等配置図 ……48頁
(5) 理工学部生(総合理工学科生を除く)	国際センター研究室等配置図……………48頁
……………16頁	昭和地区建物配置図……………49頁
(6) 理工学部総合理工学科生……………21頁	医学部教室配置図……………50頁
(7) 他大学等で修得した単位の認定……………22頁	桐生地区建物配置図……………53頁
(8) 外国人留学生の履修特例と	理工学部教室配置図……………54頁
日本語・日本事情科目……………23頁	
4 授 業……………24頁	
(1) 授業時間割表……………24頁	
(2) 受講者数の制限……………26頁	
(3) 試 験……………26頁	

教養教育について

I 群馬大学の教養教育

本学では、学部・学科・専攻等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設しており、この授業科目を体系的に編成して、各学部・学科・専攻等の教育課程としています。各学部・学科・専攻等の教育課程は、その概要がカリキュラムマップとして、群馬大学のホームページで公開されています。

(群馬大学ホームページ→在学生のみなさまへ→大学の教育について知りたい→カリキュラムマップ)

本学で開設されている授業科目は、その内容により、教養教育科目と専門教育科目に区分されています。教養教育科目は、1年次を中心に履修することになりますが、学部ごとに、取り扱いが細部で異なります。

この『教養教育履修手引』は、学生諸君が熟知しておくべき、教養教育科目の履修上の必要事項をまとめたものです。疑問の点については、遠慮なく担当教員や学生センター内の教養教育係員に尋ねて、遺漏のないようにしてください。

なお、教養教育の個々の授業の概要については、別冊の『教養教育授業案内』を、さらに詳しくは、群馬大学のホームページで公開されているシラバス(群馬大学ホームページ→在学生のみなさまへ→教務システム→シラバス)を参照してください。シラバスは、学外からも検索可能です。

本学の教育における目標は、豊かな人間性を備え、広い視野と探求心を持ち、基礎知識に裏打ちされた深い専門性を有する人材を育成することです。そのため、教養教育では、専門教育との連携を図りながら、幅広く深い教養、総合的な判断力、そして自然との共生を基盤とした豊かな人間性を涵養することを目標としています。

また、近年、大学卒業生に求められる基礎的な能力を「学士力」とし、卒業までにそれを身に付けることが求められています。この「学士力」は、21世紀に生きる私たちが身に付けるべき能力でもあり、以下の4項目で構成されています。

- 1) 知識・理解(専攻する学問分野の基本的知識を理解し、その知識体系の意味と自己の存在を、歴史・社会・自然と関連付けて理解する)
- 2) 汎用的技能(コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力)
- 3) 態度・志向性(自己管理能力、チームワーク・リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力)
- 4) 統合的な学習経験と創造的思考力

教養教育においては、「学士力」育成の基盤となる科目を、教養基盤科目と位置付け、すべての学生に必修や選択必修として課しています。また、幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性の涵養につながる科目を教養育成科目と位置付けています。

また、コミュニケーション・スキル向上の一環として、TOEIC・TOEFLの受験機会を設けています。忘れずに受験してください。

教養教育は、学部の違いを越えて、すべての学生が荒牧キャンパスで交流し、様々な考え方に接することができる場でもあります。この時期の幅広い交流や勉学を大切にしてください。

Ⅱ 履 修 関 係

1. 授 業 科 目

群馬大学の教育課程は、教養教育科目と専門教育科目によって編成され、学部ごとに、所定の履修単位修得が課せられています。

教養教育科目は、学士力育成の基盤として全学生が必ず履修しなければならない「教養基盤科目（学士力育成）」と、幅広い教養を身に付けるために学ぶ「教養育成科目」からなっています。

教養教育科目の科目区分及び授業科目の名称は下表のとおりです。各授業科目の下に多くの授業題目が開講されており、それぞれの授業題目を履修することになります。

【教養教育科目】

科目区分	授業科目
教 養 基 盤 科 目 (学 士 力 育 成)	学びのリテラシー(1) 学びのリテラシー(2) 英語 スポーツ・健康 データ・サイエンス 就業力 ^(注)
教 養 育 成 科 目	人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 健康科学科目群 外国語教養科目群 総合科目群

^(注) 共同教育学部と医学部では開講されません

(1) 教養基盤科目（学士力育成）

① 学びのリテラシー(1)

最初に、大学生に必要とされる日本語について講義や演習を通して学ぶ。その後、自ら選んだテーマについて、情報を集め、吟味し、他者と議論することにより様々なものの見方に出会い、さらに得た情報を体系化して自らの考えを確立するという過程を体験する。これらを通じ、論理的思考能力とコミュニケーション能力の重要性を理解し、その能力を向上させることの必要性を認識できるようにする。

② 学びのリテラシー(2)

少人数のゼミ、講義、演習で行い、各教員が専門としている分野を中心に、課題の見つけ方、分析の仕方、発表の方法、文章のまとめ方など、これから4年間ないし6年間にわたる大学での学びにおいて求められる基本的な方法を修得させる。さらに、各学問分野に共通の思考力・判断力・表現力等を養い向上させることを目指す。

③ 英語

グローバル化に伴い、英語は、米国や英国の言語というあり方を越えて、世界で最も使われる国際共通語になっている。この共通語を使いこなせるようにするために、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能に焦点を当て、その能力を伸ばす。各自の能力水準に合った授業を受けることができるようにするために、習熟度別クラス編成で授業を行う。

④ スポーツ・健康

生涯を健康に全うするための基本となる健康観と実践力を、広い視点から学ぶ。現代の健康づくりの基盤、特に生活習慣病の蔓延に伴ってマスコミ等で目にするようになった予防医学の第一次予防の視点と生涯スポーツ論をリンクさせた講義を行う。

⑤ データ・サイエンス

コンピュータやインターネットの仕組みを理解し、情報倫理についての考えを深めるとともに、情報社会において重要となるデータ・サイエンスの初歩について学ぶ。授業は講義に加えてパソコンを使った講習やeラーニングなども行う。これにより、現代社会を生きるために必要とされる一般的かつ基礎的な情報リテラシーを身に付ける。

⑥ 就業力

就業力とは就活力のことではない。就業力とは学生が自身の将来について考え、目的に向かって何をすべきかを意識する力である。本授業科目では、在学中に学ぶべき授業科目や内容について、カリキュラムマップをもとに理解を深め、大学での学びが社会で求められる能力にどのように活かされるかを考えるとともに、各学部の特性に応じた講義や講演、種々のグループ活動、社会見学等を通して社会が求める人材像を知り、自らのキャリアや将来像を構想する。

(2) 教養育成科目

① 人文科学科目群

生きること、考えること、行動することなどの人間にかかわる諸問題、あるいは人間をとりまく文化現象について、伝統的なまた最先端の学問の立場から理解を深めること、そして人間や文化にかかわる様々な問題点を発見し、それらを解決するための発想や知見を得ることを目指す。

② 社会科学科目群

人間の集団である社会の仕組みや制度やその変動について、あるいは人間集団としての社会にかかわる諸現象について、伝統的なまた最先端の学問の立場から理解を深めること、そして社会にかかわる様々な問題点を発見し、それらを解決するための発想や知見を得ることを目指す。

③ 自然科学科目群

現代の生活は、自然科学に基づいた様々な技術によって支えられており、それらは重要な社会・経済基盤にもなっている。また、科学・技術のさらなる高度化と発展は、環境・エネルギーから生命・医療などに至る諸問題の解決の鍵を握っている。そのため、自然科学に関する基本的な理解と基礎的な知識は、現代人にとって欠かせない素養となっており、この科目群では、様々な自然科学分野の基礎的な考え方や概念、その応用などを学び、それらの生活や社会における役割の理解を深める。これまでの物理や化学などの個別科目の学習とは異なり、複合領域的な要素や、自然環境・社会現象、生活との関連も加味され、高校時代に個別的科目の学習経験がない学生が履修しやすいように配慮した講義を行う。

④ 健康科学科目群

「スポーツ・健康」の授業と並行して、身体的・精神的・社会的健康の保持・増進に必要となる、より発展的な内容を学ぶ。自らの夢を実現し、満足のゆく生涯を過ごすためには、その人なりの健康が前提となる。そのために必要な知識や技術の一端を専門的な視点から学ぶ。

⑤ 外国語教養科目群

これまで学ぶ機会の少なかった言語について、基礎的な語彙や文法の学修に基づき、その言語で初歩的なコミュニケーションが行えるような運用能力を養成する。同時に言語学習を通じてそれぞれの言語圏の文化についての理解を深める。ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語の7言語に加え、選択英語、選択ドイツ語を学ぶことができる。

⑥ 総合科目群

現実の世界で起きる問題は、人文・社会・自然といった学問分野ごとに単純に分類されるものではない。世界は文字どおり総合的な在り方をしている。そのような社会や人間の現実を見すえ、問題意識を掘り起こし、多角的な視点から総合的に考える力を養うために、問題の背景や関連領域の広さや深さ、あるいは、様々な学問分野相互の関連を理解する筋道について学ぶ。その上に立って、伝統的な諸学問の成果を踏まえながら、総合的な視野の中に自己の専門的興味を位置付け、社会人としての自覚と実践力を養う学修をする。

(3) 開放専門科目

各学部は、専門教育科目の一部を一定の条件のもとに、開放専門科目として他学部生に開放しています。これを他学部学生が履修したときは教養教育の単位として認定します。学生一人一人が自己の関心・能力に合わせて受講し、一層高度の専門的知見を得るとともに、自らの知識と技能をさらに広げ、幅広い教養を身に付けることを目指します。

修得した開放専門科目の単位は、指定された授業科目の単位として認定されます。授業内容の詳細はシラバスを参照してください。

履修に際しては、教養教育科目授業時間割と各学部の授業時間割を照合して授業計画を立てる必要があります。授業の開始日及び授業の終了日等が学部によって異なる場合がありますので、この場合は授業を開講している学部の学年暦にしたがって履修することになります。

なお、開放専門科目を履修しようとする場合も他の科目と同様の履修登録手続きが必要です。

2. 教養教育科目等の単位の基準

教養教育科目等の授業科目ごとの授業時間(時限)と単位数は、原則として次のとおりです。集中講義の単位数も、これに準じます。

どの授業科目でも、2単位修得のためには授業時間を含めて90時間(30時間の授業+60時間の予習・復習)、1単位修得のためには授業時間を含めて45時間(15時間の授業+30時間の予習・復習)の学修が必要です。

1週2時間(2時限)15週での単位数

【2単位】	【1単位】
学びのリテラシー(1)	英語
学びのリテラシー(2)	スポーツ・健康(スポーツ科学)
スポーツ・健康(健康教育)	外国語教養科目群
データ・サイエンス	日本語(留学生対象)
就業力	入門日本語・伝統文化実践 (留学生対象)
人文科学科目群	
社会科学科目群	
自然科学科目群	
健康科学科目群	
総合科目群	
日本事情(留学生対象)	

3. 履修基準・履修方法

履修計画を立てるに当たっては、履修すべき授業科目・授業題目が指定されているもの、選択して履修するものなど、科目区分及び授業科目・授業題目により違いがあるので、細心の注意を心がけてください。

また、学部により、履修登録できる単位数に上限が設けられていますので、注意してください。

なお、担当教員が異なる場合でも、同一授業題目を重複して履修することはできません。

次に、教養教育科目の履修基準・履修方法に関して、留意すべきことを学部ごとに示します。

(1) 共同教育学部生（別表第1による）

① 履修登録単位数

履修登録できる単位数の上限は、各学期とも教育実習及び卒業研究等を除いて30単位までとする。

② 教養教育科目：初期導入科目

「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に1題目2単位を修得する。

③ 教養教育科目：リテラシー科目

ア. 「英語」は、1年次2単位、2年次2単位、計4単位を指定された授業時間に修得する。『教養教育授業案内』に記載してある英語の履修方法を参照のこと。

イ. 「スポーツ・健康」は、前期に健康教育2単位を指定された授業時間に修得する。

ウ. 「データ・サイエンス」は、前期の指定された授業時間に2単位を修得する。

④ 教養教育科目：教養科目

ア. 「学びのリテラシー(2)」は、後期に1題目2単位を修得する。なお、履修できる単位数は1題目2単位までとする。

イ. 「グローバル化と外国人児童生徒教育」2単位及び「人権と福祉」2単位は、2年次に4単位を修得する。

ウ. 次のいずれかから、4単位を選択して修得する。

- ・ 「エスニック・マイノリティの子どもと教育」2単位
- ・ 「言語と教育」2単位
- ・ 「ジェンダー論」2単位
- ・ 「防災・安全教育」2単位

エ. 「日本国憲法」及び「スポーツ科学」は、指定された授業時間に修得する。（ただし、「スポーツ科学」は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。）

オ. ア～エのほか、「人文科学科目群」、「社会科学科目群」、「自然科学科目群」、「健康科学科目群」、「外国語教養科目群」及び「総合科目群」の中から計8単位を修得する。

なお、「外国語教養科目群」は、選択英語・選択ドイツ語以外の1言語4単位を修得する。（ただし、自然・情報系及び教育人間科学系の学生は、2単位まで選択英語で代替することができる。）

⑤ 専門教育科目

1年次に開設する専門教育科目は、系・専攻により異なるので、共同教育学部の履修手引、授業案内、授業時間割表、教室配当表及び共同教育学部授業計画に従って履修する。

別表第1 共同教育学部

【教養教育科目】

科目区分	授業科目・授業題目	卒業に必要な単位数	備 考
初期導入科目	学びのリテラシー(1)	2	必修
リテラシー科目	英語	4	1年次2単位必修 2年次2単位必修
	スポーツ・健康	2	必修
	データ・サイエンス	2	必修
教 養 科 目	学びのリテラシー(2)	2	必修
	グローバル化と外国人児童生徒教育 人権と福祉	4	2年次必修 (いずれも宇都宮大学開講)
	エスニック・マイノリティの子どもと教育 言語と教育 ジェンダー論 防災・安全教育	4	選択必修
	日本国憲法	2	必修
	スポーツ科学	1	必修
	人文科学科目群	8	
	社会科学科目群		
	自然科学科目群		
	健康科学科目群		
	外国語教養科目群	4	選択英語・選択ドイツ語以外の1言語 4単位必修。ただし、自然・情報系及び教育人間科学系の学生は2単位まで 選択英語で代替することができる。 なお、選択英語・選択ドイツ語以外の 外国語は同一の教員が担当する授業題目を 通年で履修すること。
総合科目群			
合 計		31	

(2) 社会情報学部生（別表第2による）

① 履修登録単位数

履修登録できる単位数の上限は、1学年度に44単位までとする。なお、詳細は社会情報学部の履修手引を参照すること。

② 教養教育科目：教養基盤科目(学士力育成)

ア、「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に1題目2単位を修得する。

イ、「学びのリテラシー(2)」は、後期に1題目2単位を修得する。なお、履修できる単位数は1題目2単位までとする。

ウ、「英語」は、1年次2単位、2年次2単位、計4単位を指定された授業時間に修得する。別冊の『教養教育授業案内』に記載してある英語の履修方法を参照のこと。

エ、「スポーツ・健康」は、前期に健康教育2単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学1単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ、「データ・サイエンス」は、前期の指定された授業時間に2単位を修得する。

カ、「就業力」は、前期の指定された授業時間に2単位を修得する。

③ 教養教育科目：教養育成科目

教養育成科目は、「人文科学科目群」1題目2単位、「社会科学科目群」1題目2単位、「自然科学科目群」または「健康科学科目群」から1題目2単位、「外国語教養科目群」4題目4単位、「総合科目群」1題目2単位を含めて、計16単位を修得する。

「外国語教養科目群」については、原則として1年次に、選択英語・選択ドイツ語以外の1言語4単位を必ず修得する。

なお、これらの教養育成科目は在学中の学修の進展を念頭に置きつつ、1年次から計画的に履修すること。

④ 専門教育科目

1年次に開設する専門教育科目は、社会情報学部の履修手引、授業時間割表、教室配当表及び社会情報学部授業計画に従って履修する。

別表第2 社会情報学部

【教養教育科目】

科目区分	授業科目	卒業に必要な単位数	履修年次	備 考	
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)	2	1年		
	学びのリテラシー(2)	2	1年		
	英語	4	1・2年	1年次2単位必修、2年次2単位必修	
	スポーツ・健康	3	1年		
	データ・サイエンス	2	1年		
	就業力	2	1年		
教養育成科目	人文科学科目群	2以上	16	1～4年	選択英語・選択ドイツ語以外の1言語 4単位必修 なお、選択英語・選択ドイツ語以外の 外国語は、同一の教員が担当する授業 題目を通年で履修すること。
	社会科学科目群	2以上			
	自然科学科目群	2以上			
	健康科学科目群				
	外国語教養科目群	4以上			
総合科目群	2以上				
合 計		31			

(3) 医学部生（医学科）（別表第3による）

① 教養教育科目：教養基盤科目（学士力育成）

ア. 「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に1題目2単位を修得する。

イ. 「学びのリテラシー(2)」は、後期に1題目2単位を修得する。なお、履修できる単位数は1題目2単位までとする。

ウ. 「英語」は、1年次2単位、2年次2単位、計4単位を指定された授業時間に修得する。別冊の『教養教育授業案内』に記載してある英語の履修方法を参照のこと。

エ. 「スポーツ・健康」は、前期に健康教育2単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学1単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ. 「データ・サイエンス」は、前期の指定された授業時間に2単位を修得する。

② 教養教育科目：教養育成科目

教養育成科目は、「人文科学科目群」1題目2単位、「社会科学科目群」1題目2単位、「総合科目群」1題目2単位を含めて、計14単位を修得する。

③ 専門教育科目のうち専門基礎

「物理学演習」1単位、「化学演習」1単位、「自然科学演習・実験」1単位、「医系の数理科学」1単位、「物理学」「化学」「生物学」のいずれか2単位、「学びのリテラシー(3)」2単位の、計8単位を修得する。

なお、「物理学」、「化学」及び「生物学」の3科目は、高等学校で物理、化学、生物のいずれかを履修していない場合、その科目2単位を履修すること。物理、化学及び生物のすべての科目を履修した者は、大学入試センター試験で選択しなかった科目を履修すること。

専門基礎に関する窓口は基本的に教養教育係が担当する。

「自然科学演習・実験」及び「学びのリテラシー(3)」は昭和地区で開講する。

④ 専門教育科目

1年次に開設される専門教育科目は、昭和地区で開講する。医学部医学科の履修手引を参照すること。

※医学科では2年次開講科目の授業日程により教養教育科目の履修（再履修含む）が難しいことがあるので、注意すること。

別表第3 医学部医学科

【教養教育科目】

科目区分	授業科目	卒業に必要な単位数	履修年次	備考	
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)	2	1年		
	学びのリテラシー(2)	2	1年		
	英語	4	1・2年	1年次2単位必修、2年次2単位必修	
	スポーツ・健康	3	1年		
	データ・サイエンス	2	1年		
教養育成科目	人文科学科目群	2以上	14	1年	選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は、同一の教員が担当する授業題目を 通年(2単位以上)で履修すること。
	社会科学科目群	2以上			
	自然科学科目群				
	健康科学科目群				
	外国語教養科目群				
	総合科目群	2以上			
小 計		27			

(参考)

【専門教育科目のうち専門基礎】

科目区分	授業科目	卒業に必要な単位数	履修年次	備考
専 門 基 礎	物理学演習	1	1年	(荒牧)
	化学演習	1	1年	(荒牧)
	自然科学演習・実験	1	1年	(昭和)
	医系の数理科学	1	2年	(荒牧)
	物理学	2	1年	(荒牧) 高等学校で物理、化学、生物のいずれかを履修していない場合、その科目2単位を履修すること。物理、化学及び生物のすべての科目を履修した者は、大学入試センター試験で選択しなかった科目を履修すること。
	化学			
	生物学			
	学びのリテラシー(3)	2	1年	(昭和)
小 計		8		

※昭和開講の専門基礎科目は、「教養教育授業案内」に掲載されないため、シラバスを参照すること。

(4) 医学部生（保健学科）（別表第4による）

① 教養教育科目：教養基盤科目（学士力育成）

ア. 「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に1題目2単位を修得する。

イ. 「学びのリテラシー(2)」は、後期に1題目2単位を修得する。なお、履修できる単位数は1題目2単位までとする。

ウ. 「英語」は、1年次2単位、2年次2単位、計4単位を指定された授業時間に修得する。別冊の『教養教育授業案内』に記載してある英語の履修方法を参照のこと。

エ. 「スポーツ・健康」は、前期に健康教育2単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学1単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ. 「データ・サイエンス」は、後期の指定された授業時間に2単位を修得する。

② 教養教育科目：教養育成科目

教養育成科目は、「人文科学科目群」1題目2単位、「社会科学科目群」1題目2単位、「総合科目群」1題目2単位を含めて、計12単位を修得する。

なお、看護学専攻で、保健師免許による養護教諭2種免許取得を希望する場合は、「社会科学科目群」の日本国憲法を必ず修得すること。

*理学療法学・作業療法学専攻で、理学療法士・作業療法士の養成施設教員を将来希望する可能性がある者は、教養科目の選択の際に考慮すべき点があるため、あらかじめ各専攻教員に相談すること。

③ 専門教育科目

1年次生の専門教育科目は昭和地区で開講する。

別表第4 医学部保健学科

教養教育科目

科目区分	授業科目	卒業に必要な単位数	履修年次	備考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)	2	1年	
	学びのリテラシー(2)	2	1年	
	英語【※】	4	1・2年	※1年次2単位必修、2年次2単位必修
	スポーツ・健康	3	1年	
	データ・サイエンス	2	1年	
教養育成科目	人文科学科目群	2以上	1年	※1 看護学専攻で、保健師免許による養護教諭2種免許取得を希望する場合は、社会科学科目群の「日本国憲法」は必修である。 ※2 選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は、同一の教員が担当する授業題目を通年(2単位以上)で履修すること。
	社会科学科目群 【※1】	2以上		
	自然科学科目群	12		
	健康科学科目群			
	外国語教養科目群 【※2】			
	総合科目群	2以上	1～4年	
小計		25		

(5) 理工学部生（総合理工学科生を除く）（別表第5による）

① 履修登録単位数

履修登録できる単位数の上限は、各学期30単位までとする。（理工学部規程第7条第2項参照）

② 教養教育科目：教養基盤科目（学士力育成）

ア. 「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に1題目2単位を修得する。

イ. 「学びのリテラシー(2)」は、後期に1題目2単位を修得する。なお、履修できる単位数は1題目2単位までとする。

ウ. 「英語」は、1年次に4単位、2年次に2単位を指定された授業時間に修得する。

エ. 「スポーツ・健康」は、前期に健康教育2単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学1単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ. 「データ・サイエンス」は、前期の指定された授業時間に2単位を修得する。

カ. 「就業力」は、前期にキャリア計画2単位を指定された授業時間に必修として修得する。さらに、後期にキャリア設計2単位を修得したときは、教養育成科目の卒業に必要な単位数の合計に含めることができる。

③ 教養教育科目：教養育成科目

ア. 教養育成科目は、「人文科学科目群」1題目2単位、「社会科学科目群」1題目2単位、「総合科目群」1題目2単位を含めて、計12単位を修得する。（上記②カ. の「就業力」の科目を含める場合であっても、「人文科学科目群」、「社会科学科目群」、「総合科目群」からそれぞれ1題目2単位は修得する必要がある。）

なお、履修を要する科目として技術者原論を課している学科の学生は、必ず3年次に履修すること。

イ. 教育職員免許状の取得希望者は、荒牧キャンパスで開講される「日本国憲法」2単位を修得すること。取得できる教員免許状は、次のとおりである。

○高等学校の「理科」－ 化学・生物化学科

○高等学校の「工業」－ 化学・生物化学科を除く全学科

ただし、総合理工学科は夜間主就学の学生に限る。（P21参照）

④ 専門教育科目

理工学部学修案内を参照すること。

別表第5 理工学部（化学・生物化学科）

【教養教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数	履修年次	備考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)		2	1年	・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。 ・「英語」1年次に4単位、2年次に2単位修得すること。
	学びのリテラシー(2)		2		
	英語		6	1～2年	
	スポーツ・健康		3	1年	
	データ・サイエンス		2		
	就業力		2		
教養育成科目	人文科学科目群		2以上	1～4年	選択英語・選択ドイツ語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年（2単位以上）で修得すること。
	社会科学科目群		2以上		
	自然科学科目群		12		
	健康科学科目群				
	外国語教養科目群				
	総合科目群				
小 計			29		

(参考)

【基礎的な専門教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数	履修年次	備考		
理学系基盤 教育科目	学びのリテラシー(3)		2	2～4年			
	概論系科目	物理学概論	2	1年			
		化学概論	2				
	数物系科目	微分積分学Ⅰ	2			16	
		微分積分学Ⅱ	2				
		線形代数学Ⅰ	2				
		線形代数学Ⅱ	2				
		力学	2				
	実験系科目	基礎物理実験	1			1	2年
		基礎化学実験	1				
入門科目	※数学入門		2※		1～4年	※学科で指定された学生は、入門科目を履修することが望ましい。希望者も履修することができる。卒業要件には含まない。	
	※物理学入門		2※				
小 計			18				

理工学部（機械知能システム理工学科）

【教養教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数		履修年次	備 考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)		2		1年	・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。 ・「英語」1年次に4単位、2年次に2単位修得すること。
	学びのリテラシー(2)		2			
	英語		6		1～2年	
	スポーツ・健康		3		1年	
	データ・サイエンス		2			
	就業力		2			
教養育成科目	人文科学科目群		2以上		1～4年	選択英語・選択ドイツ語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年（2単位以上）で修得すること。総合科目群「技術者原論」（2単位）を3年次に修得すること。
	社会科学科目群		2以上			
	自然科学科目群		12			
	健康科学科目群					
	外国語教養科目群		2以上			
	総合科目群					
小 計			29			

(参考)

【基礎的な専門教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数		履修年次	備 考
理学系基盤 教育科目	学びのリテラシー(3)		2		2～4年	
	概論系科目	物理学概論	2		1年	
		化学概論	2			
	数物系科目	微分積分学Ⅰ	2			
		微分積分学Ⅱ	2			
		線形代数学Ⅰ	2			
		線形代数学Ⅱ	2			
	実験系科目	力学	2		2年	
		基礎物理実験	1		1年	
基礎化学実験	1					
入 門 科 目	※数学入門		2※		1～4年	※学科で指定された学生は、入門科目を履修することが望ましい。希望者も履修することができる。卒業要件には含まない。
	※物理学入門		2※			
小 計			18			

理工学部（環境創生理工学科）

【教養教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数	履修年次	備 考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)		2	1年	・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。 ・「英語」1年次に4単位、2年次に2単位修得すること。
	学びのリテラシー(2)		2		
	英語		6	1～2年	
	スポーツ・健康		3	1年	
	データ・サイエンス		2		
	就業力		2		
教養育成科目	人文科学科目群		2以上	1～4年	選択英語・選択ドイツ語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年（2単位以上）で修得すること。
	社会科学科目群		2以上		
	自然科学科目群		12		
	健康科学科目群				
	外国語教養科目群				
	総合科目群				
小 計			29		

(参考)

【基礎的な専門教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数	履修年次	備 考	
理学系基盤 教育科目	学びのリテラシー(3)		2	2～4年		
	概論系科目	物理学概論	2	16		1年
		化学概論	2			
	数物系科目	微分積分学Ⅰ	2			
		微分積分学Ⅱ	2			
		線形代数学Ⅰ	2			
		線形代数学Ⅱ	2			
	実験系科目	力学	2			
		基礎物理実験	1			
	基礎化学実験	1				
入 門 科 目	※数学入門		2※		1～4年	
	※物理学入門		2※			
小 計			18			

理工学部（電子情報理工学科）

【教養教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数		履修年次	備 考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)		2		1年	・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。 ・「英語」1年次に4単位、2年次に2単位修得すること。
	学びのリテラシー(2)		2			
	英語		6		1～2年	
	スポーツ・健康		3		1年	
	データ・サイエンス		2			
	就業力		2			
教養育成科目	人文科学科目群		2以上	12	1～4年	選択英語・選択ドイツ語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年（2単位以上）で修得すること。
	社会科学科目群		2以上			
	自然科学科目群					
	健康科学科目群					
	外国語教養科目群					
	総合科目群		2以上			
小 計			29			

(参考)

【基礎的な専門教育科目】

科目区分	授業科目	授業題目	卒業に必要な単位数		履修年次	備 考
理学系基盤 教育科目	学びのリテラシー(3)		2		2～4年	
	概論系科目	物理学概論	2	16	1年	
		化学概論	2			
	数物系科目	微分積分学Ⅰ	2			
		微分積分学Ⅱ	2			
		線形代数学Ⅰ	2			
		線形代数学Ⅱ	2			
	実験系科目	力学	2			
		基礎物理実験	1		2年	
		基礎化学実験	1		1年	
入 門 科 目	※数学入門		2※		1～4年	※学科で指定された学生は、入門科目を履修することが望ましい。希望者も履修することができる。卒業要件には含まない。
	※物理学入門		2※			
小 計			18			

(6) 理工学部総合理工学科生（理工学部学修案内による）

1) 専門教育プログラムを履修する場合（昼間主就学）

総合理工学科では、学生自らによるカリキュラム設計の自由度とカリキュラムの高い専門性のバランスをとった専門教育プログラムが準備されている。準備されている専門教育プログラムは、化学・生物化学科と同等の専門性を保証する化学・生物専門教育プログラム、機械知能システム理工学科と同等の専門性を保証する機械知能専門教育プログラム、環境創生理工学科と同等の専門性を保証する環境創生専門教育プログラム、電子情報理工学科と同等の専門性を保証する電子情報専門教育プログラムの4つであり、各専門教育プログラム修了者には上記の専門性を保証する専門教育プログラム修了証書を交付する。専門教育プログラム修了証書の取得希望者は、P16（5）、及び理工学部学修案内に記載の総合理工学科の各教育プログラム修了要件を参照すること。

ただし、各専門教育プログラム履修者は教育職員免許状（高等学校「工業」）を取得できないため、注意すること。

2) 専門教育プログラムを履修しない場合（夜間主就学）

① 履修登録単位数

履修登録できる単位数の上限は、各学期30単位までとする。（理工学部規程第7条第2項参照）

② 教養教育科目

ア. 教養基盤科目及び教養育成科目から8単位以上を修得する。

イ. 「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで教養育成科目の単位の合計に加算することができる。

ウ. 教育職員免許状（高等学校「工業」）の取得希望者（夜間主就学の学生のみ）は、桐生キャンパスでの教職免許状取得に必要な夜間開講科目の他に、夏季に桐生キャンパスで開講される教職集中講義「職業指導Ⅰ」2単位、「職業指導Ⅱ」2単位と、荒牧キャンパスで開講される「日本国憲法」2単位、「スポーツ・健康」3単位、「英語」（英語101、英語102、英語111、英語112）4単位、「データ・サイエンス」2単位を修得すること。

なお、桐生キャンパスでの教職免許状取得に必要な夜間開講科目の詳細については、理工学部学務係窓口で確認すること。

③ 専門教育科目

理工学部学修案内を参照すること。

※上記1)、2)ともに、卒業に必要な単位数等については、理工学部学修案内に記載の総合理工学科の卒業要件を参照すること。

(7) 他大学等で修得した単位の認定

他の大学、短期大学で授業科目を履修して修得した単位を本学で修得した単位として認定する制度、及び大学以外の教育施設等における学修（短期大学又は高等専門学校専攻科における学修、実用英語技能検定、TOEIC等の学修）を本学の授業科目を履修したとみなして単位として認定する制度があります。

なお、この単位認定は、本学の教育上有益と認める場合に限り認定するもので、個々に申請して認定を受けることが必要です。

① 本学入学前に修得した単位等

- ア. 他の大学、短期大学で修得した単位。ただし、科目等履修生として修得した単位は、高等学校の単位認定を受けなかった単位に限る。
- イ. 短期大学又は高等専門学校専攻科における学修。
- ウ. 技能検定等の資格等で本学が認めたもの。（社会情報学部に限る。社会情報学部の学生は学部の履修手引を参照すること。）

② 本学入学後に修得した単位等

- ア. 他の大学、短期大学で修得した単位。ただし、科目等履修生として修得した単位は、高等学校の単位認定を受けなかった単位に限る。
 - イ. 短期大学又は高等専門学校専攻科における学修。
 - ウ. 技能検定等の資格等で本学が認めたもの。（社会情報学部を除く。社会情報学部の学生は学部の履修手引を参照すること。）
- ただし、ア及びイの場合は、本学と単位互換等の協定を結んでいる大学等に限る。

〈本学が単位として認定する技能検定等〉

他の学修の種類	付与する科目・単位	備考
実用英語技能検定 準1級以上 TOEFLの成績 TOEFL PBT 550点以上 (TOEFL ITPを含む。) TOEFL iBT 69点以上 TOEICの成績 TOEIC 730点以上 (TOEIC IPを含む。) IELTSの成績 5.5以上	外国語教養科目群 選択英語 2単位	1. 本学入学後に取得した他の学修のみを対象とし、入学前に取得した他の学修は本認定から除外する。 2. 申請は、在学中に1回限りとする。
実用フランス語技能検定 ※3級以上	フランス語 4単位	
ドイツ語技能検定 ※3級以上	ドイツ語 4単位	
スペイン語技能検定 ※4級以上	スペイン語 4単位	

※仏検・独検・西検の級わけは以下のとおりです。

- 仏検：1級、準1級、2級、準2級、3級、4級、5級
- 独検：1級、準1級、2級、3級、4級、5級
- 西検：1級、2級、3級、4級、5級、6級

(注) 本学と単位互換協定を結んでいる大学等

群馬県立女子大学、関東学園大学、上武大学、東洋大学、共愛学園前橋国際大学、放送大学、前橋工科大学、高崎健康福祉大学、足利大学、群馬工業高等専門学校専攻科（理工学部のみ）

申請を希望する学生は、所定の様式により、各学期（※）における履修登録の手続期間内に、当該大学又は短期大学等の成績証明書又は他の学修に係る合格証書を添えて、教養教育係に提出してください。申請手続きについては、各学期の始めに掲示により連絡しますが、詳細については、必ず教養教育係で確認してください。

各学期（※）とは、原則として以下のとおりです。

【前期の履修登録の手続期間内に申請】

本学入学後の後学期中に他大学等で単位認定を受けた場合、又は他の学修に合格した場合。

【後期の履修登録の手続期間内に申請】

本学入学後の前学期中に他大学等で単位認定を受けた場合、又は他の学修に合格した場合。

（注1）本学入学前に修得した単位の申請は、入学年度の学期（4月入学者は前期、10月入学者は後期）のみ申請可とします。

（注2）最終学年における申請に関して、教養教育科目は後期の履修登録の手続期間内までとしますが、専門教育科目については各学部で確認してください。

（注3）本学に編入学した者が教養教育科目の単位を申請する事情が生じた場合は、教養教育係に相談してください。

（8）外国人留学生の履修特例と日本語・日本事情科目

外国人留学生は、日本の大学で勉強するためには、日本語能力が充分でない可能性があります。また、日本の社会や歴史などについての基礎知識を補う必要性もあると思われます。

日本語・日本事情科目は、日本の大学への留学を実りあるものとするための手がかりになるように構成されています。学則第62条に基づいて入学した留学生については、次の表のとおり教養教育科目の履修について特例が認められています。

なお、授業についての詳しいことは国際センター発行の『留学生便覧』を参照してください。

外国人留学生が履修できる授業科目	代替できる教養教育科目及び単位数	
日 本 語	外国語教養科目群（選択英語・選択ドイツ語を除く）	1カ国語に限り4単位まで
日 本 事 情	人文科学科目群及び社会科学科目群	6単位まで
	総合科目群	4単位まで

※なお、日本事情科目「Jプログラム日本入門特別講義」については、教養教育科目への代替はできません。

4. 授 業

(1) 授業時間割表

① 時間割表に記載されている科目

教養教育科目授業時間割表には、荒牧地区及び昭和地区で初年次に開講される教養教育科目と、医学部医学科、医学部保健学科及び理工学部の専門教育科目が記載されています。

また、高年次生を対象に、荒牧地区・昭和地区・桐生地区で開講される教養教育科目は、各学部で作成する時間割表に記載されています。

共同教育学部・社会情報学部でも、初年次に専門教育科目を開講していますが、これらは、各学部で作成する時間割表に記載されています。

② 履修計画

大学では自ら学修計画を立て、所属する学部・学科・専攻等で定める「卒業に必要な単位数」を含め必要な授業科目を履修します。従って、1週間の履修計画表は、特に定められたものがないので、各々が自ら作成する必要があります。履修計画を立てるに当たっては、本履修手引、授業時間割表、授業案内及びシラバス等を十分活用してください。開設されている授業には、クラス指定の授業と、原則として全学部の学生を対象として開設される授業とがあり、おおむね次のとおりとなっています。

なお、クラス指定の授業の中には、複数クラスが合同で行う授業や、習熟度や種目選択などにより、複数クラスを再編成して行う授業があります。複数クラスを再編成する授業の詳細は掲示で発表します。

○ クラス指定の授業

学びのリテラシー(1)、英語、スポーツ・健康（シーズンスポーツを除く）、データ・サイエンス、就業力、外国語教養科目群（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語）、専門教育科目

○ 全学部を対象とした授業

学びのリテラシー(2)、人文科学科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、健康科学科目群、外国語教養科目群（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語を除く）、総合科目群

○ 専門教育科目としての開講学部以外の学生を対象とした授業

開放専門科目（授業時間割表には記載されていないので、授業案内で確認してください。）

③ 教養教育科目授業時間割表の見方

ア. 授業時間割表の主な記号

学1	LB1123	授業題目名	教員名	2
a	b			c

a. 授業科目を示す記号

学1：学びのリテラシー(1)

学2：学びのリテラシー(2)

英語：英語

スポ：スポーツ・健康

データ：データ・サイエンス

就業：就業力
 人文：人文科学科目群
 社会：社会科学科目群
 自然：自然科学科目群
 健康：健康科学科目群
 外語：外国語教養科目群
 総合：総合科目群
 共同教育：共同教育学部
 専門：専門教育科目（医学部医学科・医学部保健学科・理工学部）

b. 時間割番号（コード）

開設授業のデータ整理用のコードで、履修登録をするときに使用します。

なお、開放専門科目の時間割番号は、教養教育係で確認してください。

LB：教養教育科目

MB：医学部医学科専門教育科目

HB：医学部保健学科専門教育科目

TB：理工学部専門教育科目

c. 単 位

1：一期1単位

2：一期2単位

イ. クラスについて

各学部・学科のクラス表示は、時間割表の上欄に記号で示してあり、欄外に記号の説明があります。

クラスの枠で囲まれた授業科目が、クラス指定の授業です。なお、授業規模を適正にするため、授業科目によって、クラス編成が異なる場合があります。

色つきで、全学部を通して帯状に示してあるのが、全学部対象の授業です。途中にクラス指定の授業が挟まっている場合にも、同じ時限のクラス指定以外のすべての授業題目から1つを選択できます。なお、この時間帯にクラス指定や昭和地区での授業がある場合には、クラス指定や昭和地区の授業を履修してください。

ウ. 授業時間

授業は主に90分の授業と10分の休憩からなっており、次表のように定められています。なお、90分の授業をもって2時間の授業と見なします。

授業は、通常2時限単位で行われますが、実験・実習科目等では、3時限あるいは6時限連続の授業もあります。

時 限	始 業	終 業
1 ～ 2	8時40分	10時10分
3 ～ 4	10時20分	11時50分
5 ～ 6	12時40分	14時10分
7 ～ 8	14時20分	15時50分
9 ～ 10	16時00分	17時30分

エ. 集中講義（開設時期や開設場所に注意してください。）

集中講義とは、特定の短い期間に集中的に授業を行うもので、講義形式のもの（総合科目群等）、実技を中心とするスポーツ・健康（シーズンスポーツ）、海外短期研修（総合科目群等）が開設されます。

集中講義の開講期間等については、別途掲示します。

（２）受講者数の制限

授業科目によっては、受講者数を制限することがありますので注意してください。

（３）試 験

① 期末試験

試験は原則として学期末に期間を定めて行います。

試験を受けることのできる科目は、学期初めに履修登録をした授業科目のみです。

ただし、平常の出席状況により、その科目の受験を認めないことがあります。

期末試験の実施計画は、実施期日の1週間前に教務システムと掲示板により発表しますので、④受験心得を厳守して受験してください。

成績の評価は、S（90点～100点）、A（80点～89点）、B（70点～79点）、C（60点～69点）、D（59点以下）の5段階とし、C以上を合格とし、Dを不合格とします。

なお、成績評価に疑問がある場合は、成績評価の確認を申請することができます。

② 追試験

病気その他やむを得ない事情により、試験を受けることができなかった場合は、追試験を願い出ることができます。

追試験を願い出る者は、受験できなかった科目の試験終了の日から2週間以内に、所定の様式により次の書類を添えて願い出を行ってください。

（１）病気により受験できなかった者は、医師の診断書

（２）その他の事情により受験できなかった者は、これを証明する書類

理由が正当と認められた者には、試験終了後から次の学期開始後1ヶ月以内までの間に追試験を行います。ただし、卒業年次の最終学期については、次の学期を待たずに行います。

③ 再履修

試験に不合格となった授業科目について再履修を希望する場合は、次の学期以後に改めてその授業科目を履修し、受験しなければなりません。

④ 受験心得

ア. 定期試験の際は、原則として一列おきに、列をそろえて着席すること。

イ. 学生証を机上に提示すること。忘れた場合は受験を認めないことがある。

ウ. 受験のため許可された携帯品以外は、指定された場所に置くこと。

エ. 下敷は使用しないこと。

オ. 試験中の物品の貸借は、一切しないこと。

- カ. 30分以上遅刻した者は、受験を認めない。
- キ. 試験開始後30分までは退場しないこと。
- ク. 答案は、各自必ず監督教員に直接提出すること。答案用紙は、試験教室から持ち出さないこと。
- ケ. 不正行為をしないこと。不正な手段を用いて受験した場合は、群馬大学学生の懲戒等に関する規則により、処分されます。
- コ. その他監督教員の指示に従うこと。

群馬大学学生の懲戒等に関する規則（抜粋）

（懲戒処分の指針）

第7条 この規則に規定する懲戒の基準に該当する行為（以下「違法行為等」という。）における標準的な量定は、別表に定める懲戒処分の指針によるところとする。ただし、具体的な量定の決定に当たっては、次の各号に掲げる事項のほか、適宜、日頃の学業態度や違法行為等の後の対応等も含め総合的に勘案の上、判断する。

- (1) 違法行為等の動機、態様及び結果
- (2) 故意又は過失の度合い
- (3) 他の学生及び社会に与える影響
- (4) 過去の違法行為等

2 悪質性は、当該学生の態様、違法行為等に至る動機等を勘案の上、判断する。

3 個別の事案の内容によっては、別表に掲げる量定以外のものとすることができる。

4 過去に懲戒等の処分を受けた者が、再度懲戒等に相当する行為を行った場合は、悪質性が高いものとみなし、重い処分を課すことができる。

5 別表に定めのない違法行為等についても懲戒処分の対象となる場合もあり、これらについての量定は、別表に定める量定を参考として判断する。

（懲戒処分の告知及び告示）

第10条 学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人（保護者を含む。）に告知する。

2 学長は、前項の告知をしたときは、当該学生の氏名及び学籍番号を伏せ、当該学生の所属、懲戒の内容及び懲戒の事由を学内に告示する。

3 告示の場所は、学内各学部掲示板及び学務部掲示板とする。

4 告示の期間は、告示日から1週間とする。

（取得単位の無効）

第15条 試験等において不正行為を行った学生に対しては、次の各号に定める単位を無効とする。

- (1) 退学又は停学の処分を受けたときは、原則として当該不正行為を行った学期において履修した全授業科目の単位
- (2) 訓告の処分又は教育的措置を受けたときは、原則として当該不正行為を行った授業科目の単位

.....

別表（第7条関係）

懲戒処分の指針（抜粋）

区 分	違 法 行 為 等 の 種 類	懲戒の標準的な量定		
		退学	停学	訓告
試験等における不正行為	試験等において、身代わりをさせ、又は身代わりをして受験等をする不正行為を行った場合	○	○	
	試験において、次に掲げる不正行為のいずれかを行った場合で悪質なもの (1) 隠し持ったメモ、書籍、機器若しくは他者の答案を見ること又は他者に教わること。 (2) 他者に答案を見せること又は他者に教えること。		○	
	レポート提出又は研究報告において、他者のレポートやウェブ、書籍等から内容を引き写し、又は出典を明記せずに引用した場合		○	○
	試験等において、監督者の注意又は指示に従わなかった場合			○
	試験等において、不正行為を繰り返し行った場合、当該不正行為が社会的に重大な影響を及ぼすに至った場合又は当該不正行為が組織的に行われた場合	○	○	
	試験等において不正行為を行った場合		○	○

5. 文化講演会

文化講演会は、学術・文化等各界の識者を招き、豊富な見識、体験を通して学生諸君の人生観、世界観形成のための資となることを目的として毎年実施されるものです。

6. 海外短期研修について

本学では、海外留学を推奨しています。

教養教育授業科目では、海外短期研修プログラムに参加した場合、外国語教養科目群若しくは総合科目群の単位を修得することができます。

詳細については、教養教育係窓口等で確認できますので、海外短期研修プログラム希望者は相談してください。

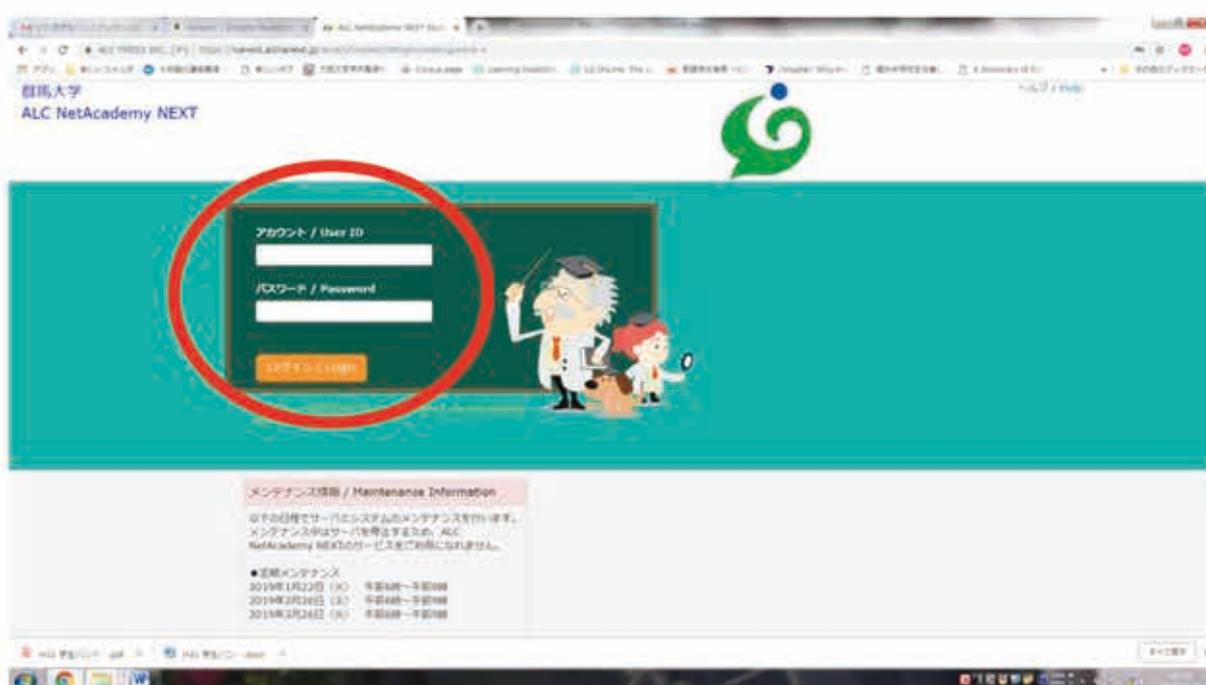
7. 統一英語試験について

令和3年1月28日にTOEIC-IP（外部英語試験）を教養教育課程での英語教育の一環として実施し、教養英語の成績に反映します。詳細は教務システムのシラバスを参照してください。試験の結果は学生自身にお知らせします。

8. ALC NetAcademy NEXT (e-learning教材)

アルクネットアカデミーネクストは、LAN 環境で使用するネットワーク型学習システムです。学習者は各コンピュータを利用して、WWW ブラウザで学習を行います。パソコンの利点をうまく活用すると共に、多彩なマルチメディア機能とインタラクティブ性を活かし、効果的な語学学習を実現した e-learning システムです。群馬大学の学生は、オンライン自学学習教材「アルクネットアカデミーネクスト」を使うことができます。全学認証アカウントでログイン後、目的に応じてコースを選択し、学習に取り組むことができます。

- ① <https://alcnanext.jp/anetn/Student/stlogin/index/gunma-u> にアクセスしてログインします。アカウントとパスワードを入力します。



<ALC NetAcademyNEXT へのログインの仕方>

4月にログイン情報に関するメッセージが届きますので、注意して確認をして下さい。
なお、ログイン後は、速やかにパスワードを変更してください。

ログインに必要な情報： アカウント：全学認証アカウントユーザ ID
パスワード：H (又はS) 生年月日
(生年月日の頭に元号の「H」又は「S」を付けてください。
また、生年月日は「120101」などと入力してください。)

ログイン URL : <https://alcnanext.jp/anetn/Student/stlogin/index/gunma-u>

パスワードを変更するには

1. このメールに記載されているアカウントとパスワードで、ALC NetAcademy NEXT にログインします。
 2. [ホーム] 画面右上の氏名をクリックします。[個人情報設定] 画面が表示されます。
 3. 変更後のパスワードを [新しいパスワード] と [新しいパスワード (再入力)] に入力します。
 4. [更新] ボタンをクリックします。
- 入力した内容でパスワードが変更されます。これでパスワード変更の作業は完了です。

問い合わせ先： gakusei@jimu.gunma-u.ac.jp

ホームページ

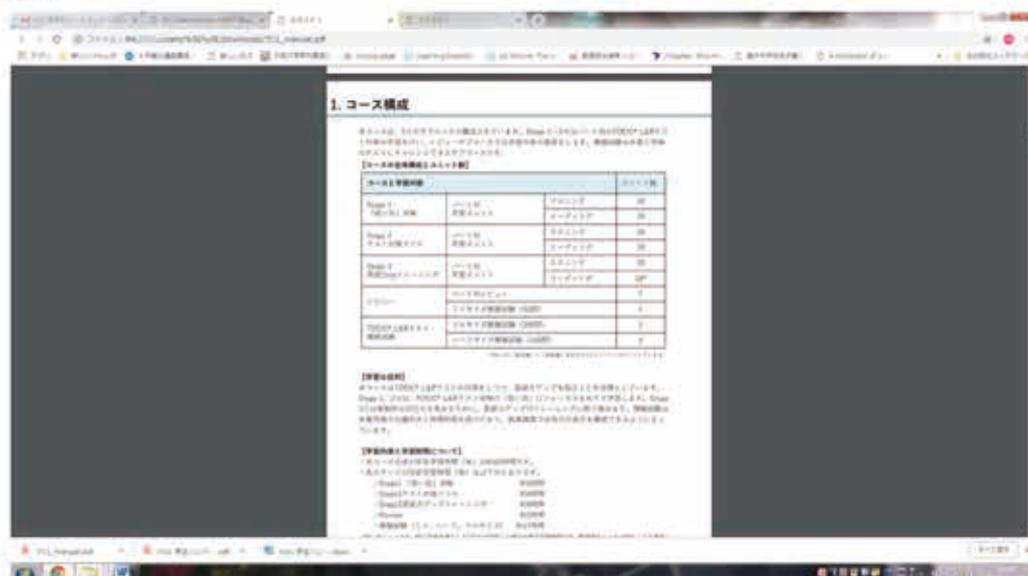


ALC NetAcademyNEXT には、以下のコースがあります。

- TOEIC(R) L&R テスト 500 点突破コース
- TOEIC(R) L&R テスト 600 点突破コース
- TOEFL ITP(R) テスト攻略コース

各授業において課題として、指定される場合がありますが、そうでない場合、ここにそれぞれのコースのガイドがあります。学習方法から利用の仕方までありますので、参考にしてください。

ガイド



諸 手 続

I 学生の窓口

学生に対する伝達、連絡事項その他学生に周知すべき必要事項は、当面は、「教務システム」と掲示の両方で行います。諸君の学生生活に密接なつながりがあり、毎日新しい連絡が出ますので、見落としとして授業計画や学生生活に支障を起こさないように注意してください。

1. 学生センター

学生センターは、学生諸君が入学してから卒業するまでの間の、学生生活全般にわたり各学部と連携しながら総括的な業務を行う窓口です。

(1) 教養教育係

教養教育係は、教養教育期の学生を対象として、以下の業務に当たっています。履修上で疑義が生じたら窓口へ来て相談してください。

- 履修登録及び履修指導に関する事
- 時間割表及び教室配当に関する事
- 期末試験及び成績に関する事
- 欠席届に関する事
- 学生用ロッカーに関する事

(2) 教養教育係以外の窓口

教養教育係以外の窓口については、『学生便覧』を参照してください。

2. 各学部の学生関係の窓口

各学部の学生関係の窓口は次のとおりです。詳細は、『学生便覧』を参照してください。

- 共同教育学部・・・教務係
- 医学部・・・昭和地区事務部学務課
- 社会情報学部・・・教務係
- 理工学部・・・学務係、学生支援係

3. 担任教員・チューター

担任教員・チューターは、諸君が教員と親しく接し、学修上のことはもちろん、一身上のことについても遠慮することなく相談をし、適切な助言・指導を受けられるように設けられたものです。何事でも判断に迷うようなことがあれば担任教員・チューターに相談してみてください。

なお、担任教員・チューターは、学部・学科・専攻を母体に編成され、その名称、制度は学部（学科）によって異なります。担任教員・チューター名は各学部（学科）から連絡します。なお、担任クラスと授業の履修クラスとは異なるので注意してください。

Ⅱ 諸手続

1. 休学、復学、欠席等について

病気その他の一身上の理由で2ヶ月以上修学できない場合は、担任教員又は事務室（理工学部1年生は教養教育係、他学部生はそれぞれの所属学部の教務担当窓口）へ届け出て、休学に伴う修学上の諸問題について相談の上、所定の手続きをしてください。

休学の場合、授業料納入免除の途がありますが、学期開始後となると納入免除ができなくなります。不測の場合を除き、前期休学は3月上旬までに、後期休学は9月上旬までに手続きをすることが望まれます。

また、休学に至らない2週間以上の欠席のときは、その旨所定の様式「欠席届」により届け出てください。なお、「欠席届」は長期欠席を把握するための手続きですので授業への配慮等を確約するものではありません。

2. ロッカールームについて

2号館GB206室、2号館GB205室に個人ロッカーを備えて、教養教育期（1年次）における使用に供しています。ロッカー番号の割り当ては、掲示でお知らせします。

ロッカーは大切に使用し、お互いに清潔を心がけ、自主的に管理してください。

なお、鍵は各自で必ず用意し、貴重品等の取り扱いに十分に注意してください。

【令和2年度ロッカー貸与期間】

令和2年4月9日(木)～令和3年2月5日(金)

3. その他

この項では、学生生活を送る上で、特に授業に直接関係する必要な手続き、守らなければならない規則の概要を説明しています。

このほかの諸規程等、諸願出書・届出書等の手続きについては、『学生便覧』に詳しく掲載されています。

Ⅲ 履修手続

1. 履修登録に関する注意

履修登録は、「履修登録」(教務システムへ入力)を行うことによってのみ認められます。したがって、履修登録をしていない授業科目(開放専門科目も含む)については、単位は認定されないため履修登録手続は確実に行ってください。

○「履修登録」(教務システムへ入力)について

「履修登録」は、各自の履修計画に基づき、履修登録期間内に『教務システム』へアクセスして履修登録を行ってください。

なお、授業については、令和2年度前期4月9日、後期10月1日から授業開始となりますので、「履修登録」前であっても出席するようにしてください。

特に必修科目については、必ず初日から出席する必要があります。

また、集中講義も各学期の履修登録期間内に登録してください。

2. 履修登録の手順

○「履修登録」(教務システムへ入力)方法

履修登録期間内に『教務システム』へアクセスして履修登録を行ってください。

抽選対象科目については、授業開始から1週間後にシステムにより抽選を行いますので、抽選対象科目の履修を希望する場合は、抽選前までに履修登録を行ってください。

抽選の結果、【当選】した科目は削除することができないのでご注意ください。

【令和2年度履修登録期間】

前期 4月9日(木)～4月22日(水)

※抽選は、4月15日(水) 16時までに入力された科目を対象に行います。

抽選結果は4月15日(水) 22時以降に『教務システム』で確認できます。

後期 10月1日(木)～10月14日(水)

※抽選は、10月7日(水) 16時までに入力された科目を対象に行います。

抽選結果は10月7日(水) 22時以降に『教務システム』で確認できます。

■ 教務システムとは

教務システムとは、Web（インターネットに接続されたパソコン、携帯電話、スマートフォン等）から授業に関することをはじめ、試験日程、教室配当、授業料免除、奨学金、学生の呼び出し等に至るまで、非常に重要な情報を確認するために導入したシステムです。学生のみなさんは、毎日必ず確認する習慣をつけてください。

※ 教務システム及び掲示板等で連絡したものは、すべて伝達したものととして取扱います。確認しなかったという理由で、事後の異議を申し出ることはできませんので、注意してください。

■ 教務システムの主な機能について

- ・ 学生情報の変更（住所、電話番号、メールアドレスなど）
※ 保証人情報などの変更は、窓口に出してください。
- ・ 休講・補講・教室変更情報
- ・ 大学からのお知らせ
- ・ メッセージ
- ・ 災害時の安否確認
- ・ 年間行事予定
- ・ 定期試験情報
- ・ 履修登録
- ・ 時間割の確認
- ・ 単位修得状況の確認
- ・ アンケート機能
- ・ 就職情報

■ 推奨するシステム環境(OS およびウェブブラウザ)について

< Windows をお使いの場合 >

Internet Explorer 7.0 以上
Firefox 2.0 以上

< Macintosh をお使いの場合 >

Safari 3.0 以上
Firefox 2.0 以上

■ 接続場所

学内・学外問わず接続可能です。

■ 接続方法について

教務システムにログインするには、「全学認証アカウントID 及びパスワード」が必要です。
なお、本学の学生は入学時に「全学認証アカウントID 及びパスワード」が配付されます。

① 群馬大学ホームページへアクセスします。

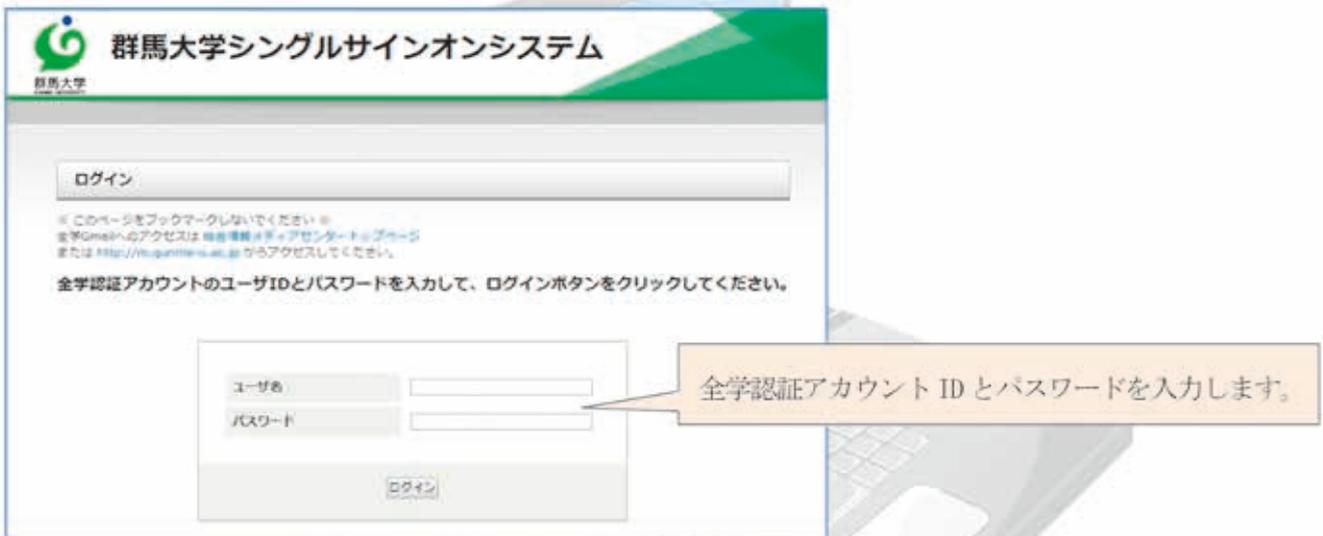
「トップページ」 → 「在学生のみなさまへ」 → 「教務システム」とアクセスしてください。



② 教務システムにログインするには、「全学認証アカウントでログイン」ボタンをクリックしてください。



③ 「全学認証アカウント ID 及びパスワード」を入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。



④ ID・パスワードが認証されると、次の画面（自分のページ）が表示されます。



※ 授業に関することをはじめ、試験日程、教室配当、授業料免除、奨学金、大学からの呼び出し等に至るまで、非常に重要なことが連絡されますので、大学から発信された新着のメッセージ・お知らせ・アンケートがある場合は、必ず確認しましょう。

■ 履修登録をするには

※ 履修登録は、教務システムを使って行います。

・履修登録を行う前に、履修手引等を読んで履修計画を立てましょう。

・履修登録していない授業科目(開放専門科目も含む)については、単位が認定されないので履修登録手続きは確実に行ってください。

・履修登録期間及び抽選対象科目の抽選日時については、教務システムや掲示板でお知らせしますので、必ず確認してください。

・抽選対象科目については、授業開始から1週間後にシステムにより抽選を行いますので、抽選対象科目の履修を希望する場合は、抽選前までに履修登録を行ってください。

※ 抽選の結果、【当選】した科目は削除することができないので、注意してください。

※ 教養育成科目は、抽選となります。

・履修登録期間内であれば、何度でも追加・修正することができますが、修正する際には、十分注意しましょう。

※ 登録した内容は、履修登録期間を過ぎると修正・追加ができません。期間内に入力間違いや登録漏れがないか、必ず再確認してください。

① 「履修・成績情報」→「履修登録」にアクセスします。



② 履修登録画面が表示されます。曜日・時限の [追加] ボタンをクリックして授業科目を追加します。



※ 抽選対象科目を第1希望～第5希望まで入力する場合



希望を追加する場合は、[追加] ボタンをクリックすると、第1希望～第5希望まで追加できます。

- ③ 別ウィンドウが起動し、科目一覧が表示されます。
登録する科目の【追加】ボタンをクリックします。

科目ID	科目名	科目種別	科目コード	科目名	科目種別	科目コード	科目名	科目種別	科目コード
00001011	英語1	英語	711-2	英語1	英語	711-2	英語1	英語	711-2
00001012	英語2	英語	711-2	英語2	英語	711-2	英語2	英語	711-2
00001013	英語3	英語	711-2	英語3	英語	711-2	英語3	英語	711-2
00001014	英語4	英語	711-2	英語4	英語	711-2	英語4	英語	711-2
00001015	英語5	英語	711-2	英語5	英語	711-2	英語5	英語	711-2
00001016	英語6	英語	711-2	英語6	英語	711-2	英語6	英語	711-2
00001017	英語7	英語	711-2	英語7	英語	711-2	英語7	英語	711-2
00001018	英語8	英語	711-2	英語8	英語	711-2	英語8	英語	711-2
00001019	英語9	英語	711-2	英語9	英語	711-2	英語9	英語	711-2
00001020	英語10	英語	711-2	英語10	英語	711-2	英語10	英語	711-2

自コースの専門科目や教職科目は、画面上部のタブを切り替えることで表示・登録できます。

クリックします。

- ④ 追加した科目が画面に反映されます。同様に科目を追加します。
⑤ 以上の登録作業を完了してください。
⑥ 入力間違いや登録漏れがないか、履修登録期間内に「履修時間割表」で必ず再確認しましょう。

追加ボタンを押して時間割リストを表示し、科目割を選択することの確認が登録されます。

月	全	水	木	金	土
1	科目A 履修時間割	科目F 履修時間割	履修	履修	履修
2	科目A 履修時間割	科目F 履修時間割	履修	履修	履修
3	科目E 履修時間割		履修	履修	履修
4	科目E 履修時間割		履修	履修	履修

画面に反映されます。

トップメニュー メッセージ **履修・履修時間割** ポートフォリオ 登録情報 各種設定

履修時間割 **履修時間割表** 履修時間割 履修時間割

トップメニュー > 履修時間割

履修時間割表

履修時間割表

月	火	水	木	金	土
1	科目A	科目E			
2	科目A	科目E			

PDF形式の履修時間割表が出力できます。

●PDF形式の履修時間割表 ※この画面で最終確認をしてください。

履修時間割表

月	火	水	木	金	土
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					

※曜日・時限の背景色について

- ・教養科目:青
- ・専門科目(自コース科目), 教職科目:緑
- ・他学科・他コース科目:黄色

■ 抽選結果を参照するには

所定の日時になると、抽選結果が表示されます。

2014年度抽選結果						
	月	火	水	木	金	土
1	1125 1単位 科目A 抽選結果 第1希望候補	1204 1単位 科目E 抽選結果 第1希望候補				
			追加	追加	追加	追加
2	1105 1単位 科目A 抽選結果 第1希望候補	1204 1単位 科目E 抽選結果 第1希望候補				
			追加	追加	追加	追加
3	1110 1単位 科目E 抽選結果 第1希望候補					
		追加	追加	追加	追加	追加
4	1110 1単位 科目E 当選					

※抽選結果

- 「当選」……定員が充足している当選科目は削除できません。
- 「抽選漏れ」……抽選漏れになった曜日・科目は「追加」できます。
- 「空きあり」……空きありは削除できます。

	月	火
1	1105 1単位 科目A 抽選漏れ 第1希望候補	1204 1単位 科目E 空きあり 第1希望候補
		追加
2	1105 1単位 科目A 抽選漏れ 第1希望候補	1204 1単位 科目E 空きあり 第1希望候補
		追加
3	1110 1単位 科目E 当選	
		追加

学内ネットワーク(教育用端末、無線LAN) の利用等

学内ネットワーク（教育用端末，無線 LAN）の利用

履修登録やシラバス閲覧に利用する「教務システム」など，学内外の各種サービスを受けるため，学内に設置されたパソコン（教育用端末）や無線 LAN を利用できます。なお，教育用端末や無線 LAN を使用するためには，教務システムへのログインにも利用する全学認証アカウントが必要です。

詳しくは，総合情報メディアセンターの Web ページをご覧ください。

1. 教育用端末

総合情報メディアセンター中央図書館や，荒牧地区 2 号館 GB201 教室などには，総合情報メディアセンターの提供するパソコン（教育用端末）が設置されています。下記の教育用端末は，授業が実施されていないときには，「教務システム」へのアクセスや自習などに利用できます。

- (1) 荒牧地区：中央図書館 1 階ラーニングcommons（貸出パソコン 31 台）
北側閲覧席等（19 台）
- (2) 昭和地区：医学図書館 1 階（35 台）
- (3) 昭和地区：共用施設棟 3 階演習室 B（48 台）
- (4) 桐生地区：理工学図書館 1 階ラーニングcommons（貸出パソコン 20 台）
- (5) 桐生地区：理工学図書館 3 階コンピュータ演習室 B（60 台）

2. 無線 LAN

全てのキャンパスで，無線 LAN アクセスポイントが設置されており，自分のノートパソコンやスマートフォン等から群馬大学学術情報ネットワーク（GUNet）を利用できます。主な利用可能な場所には，ステッカーを表示しています。

無線 LAN アクセスポイントは，IEEE802.11a/b/g/n/ac 規格に対応しています。一部アクセスポイントは IEEE802.11ax にも対応しています。利用方法等の詳細は，総合情報メディアセンターの Web ページを参照してください。



3. 関連 URL

- (1) 総合情報メディアセンター：<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>
- (2) 全学認証アカウント：<https://www.media.gunma-u.ac.jp/ITservices/account/>
総合情報メディアセンタートップ>IT サービス>全学認証アカウント
- (3) 無線 LAN：<https://www.media.gunma-u.ac.jp/network/wlan>
総合情報メディアセンタートップ>ネットワーク>無線 LAN

■ 全学Gmail の活用について

- 1 群馬大学の全ての学生・教職員が利用できるメールサービスです。学生は卒業後も利用できます。このサービスを利用するには、全学認証アカウントが必要となります。

詳細については、下記の URL で確認してください。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>



- 2 大学からの連絡は、教務システムのメッセージやお知らせ、全学Gmail 及び掲示板を通じて行います。

3 安否確認メールについて

本学では、学生への緊急連絡や災害発生時等に安否確認を行う手段として、大学のメールアドレスとして登録されている学生みなさんの全学Gmail に教務システムから「安否確認メール」を配信します。

非常時に備え「安否確認メール返信訓練」を行いますので、在学学生は必ず参加してください。

建物配置図

（ 研究室、教室等の配置は、改修等のため変更
になる場合があります。
不明な点は窓口にお問い合わせください。 ）

教養教育教室等配置図

〔 1号館 〕

5 階

			エレベーター	学生 実験室	GA509 化学実験室	化学 図書室	GA511 化学実験室 (有機)	GA512 化学実験室		
GA501 化学実験室	女子 トイレ	男子 トイレ			GA502 化学実験室	準備室	尾 崎 研 究 室	住 吉 研 究 室	山 田 研 究 室	京 免 研 究 室

4 階

			エレベーター	GA408 化学 実験室	GA409 物理実験室	準備室	GA411 物理実験室	学生研究室		
GA401 物理実験室	女子 トイレ	男子 トイレ			GA402 物理実験室	準備室	物理 図書室	高 橋 研 究 室	後 藤 研 究 室	研 究 室

3 階

			エレベーター	学生 研究室	GA308 教 室	物理実験室 (精密 測定室)	GA310 物理実験室 (光学)	GA311 物理実験室		
GA301 教 室	女子 トイレ	男子 トイレ			GA302 教 室	大 塚 研 究 室	渡 辺 研 究 室	高 江 洲 研 究 室	数 学 図 書 室	

2 階

			エレベーター	工作室	化学実験室	GA210 共通実験室	準備室	動物 飼育室	学生 研究室	分 析 室	
GA201 教 室	女子 トイレ	男子 トイレ			GA202 教室	GA203 教室	化学 実験室	植物 栽培室	多 日 的 室	石 川 研 究 室	西 村 (尚) 研 究 室

1 階

			エレベーター	印刷室	学生 ホール	教 務 課	資料室	電算機室		
電 気 室	女子 トイレ	男子 トイレ			学生支援課	学生 受入課	学生 相談室	学務部長室	センター長室	

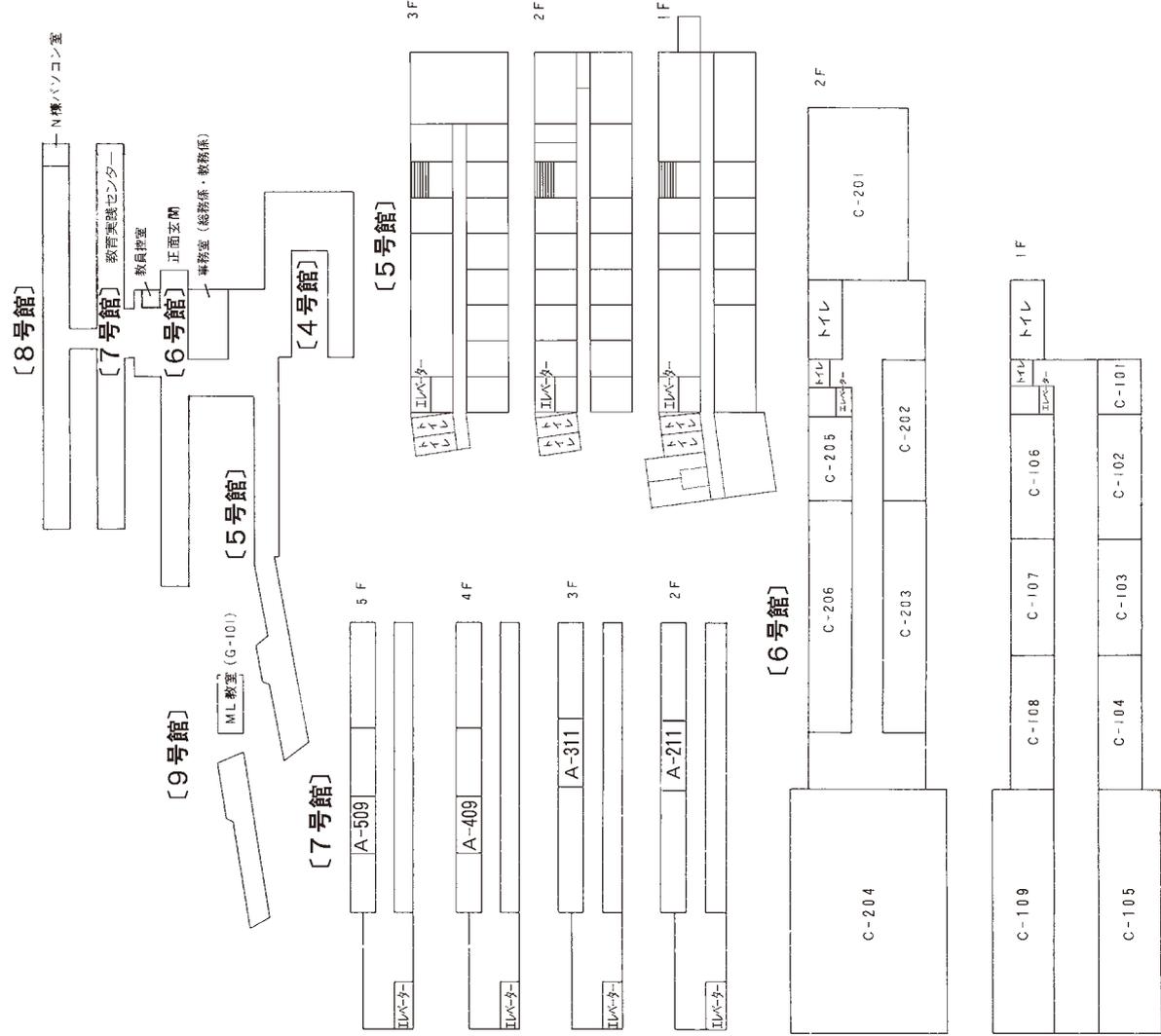
社会情報学部教室等配置図

〔10号館〕

6階	女子トイレ 608 藤井 研究室	男子トイレ 607 北村 研究室	演習室 606 大野 研究室	演習室 605 永野 研究室	演習室 604 杉山 研究室	演習室 603 松井 研究室	演習室 602 坂本 研究室	演習室 610
5階	女子トイレ 508 伊藤 研究室	男子トイレ 507 河高 研究室	教育・研究センター 512 高山 研究室	マルチメディア実験室 511 平田 研究室	505 山内 研究室	503 小竹 研究室	502 西村(淑) 研究室	501 松宮 研究室
4階	女子トイレ 408 岩井 研究室	男子トイレ 407 森谷 研究室	ネットワーク 管理室 411 高木 研究室	情報処理演習室 410 404 細野 研究室	405 403 柿本 研究室	306 第一会議室	305 学部長	
3階	女子トイレ 305 教務係 研究室	男子トイレ 304 教務係 総務係 副事務長	倉庫 308	教員控室 307	302 事務長	206 講義室	201 演習室	
2階	女子トイレ 205 吹	男子トイレ 204 吹	Common Room 207	演習室 206	203 大学院生研究室	106 講義室	101 電気室	
1階	女子トイレ 104 正面玄関	男子トイレ 103 ロビー	講義室 102 白習室	講義室 105 機械室	101 講義室			

共同教育学部教室等配置図

〔8号館〕



共同教育学部

(7号館)

5階

理科教育実験室	動物薬生学実験室	電子顕微鏡室	理科教育機器室	資料室	演習室	人文社会実験室
理科教育資料室	動物形態学実験室	物理資料室	音山研究室	人文社会実験室	大島研究室	山口研究室
益田研究室	佐藤(謙)研究室	佐藤(浩)研究室	音山研究室	佐藤(浩)研究室	大島研究室	山口研究室
益田研究室	佐藤(謙)研究室	佐藤(浩)研究室	音山研究室	佐藤(浩)研究室	大島研究室	山口研究室

4階

化学分析室	分子設計室	細胞生理学実験室	化学準備室	学生化学実験室
化学測定室	H恵研究室	分子機能評価室	生物試料分析室	学生生物実験室
片岡研究室	佐野研究室	佐野研究室	生物試料分析室	学生生物実験室
片岡研究室	佐野研究室	佐野研究室	生物試料分析室	学生生物実験室

3階

図書室	科学教育資料室	化学機器室	電子光学実験室	物理準備室	学生物理実験室
栗原研究室	科学教育実験室	電子工学実習室	電子工学実習室	物性準備室	物性実験室
栗原研究室	科学教育実験室	電子工学実習室	電子工学実習室	物性準備室	物性実験室
栗原研究室	科学教育実験室	電子工学実習室	電子工学実習室	物性準備室	物性実験室

2階

石工室	地学資料室	地学光学実験室	X線回折実験室	地球物理学資料室	学生地球学実験室
				地質学資料室	地球物理学実験室
				地質学資料室	地球物理学実験室
				地質学資料室	地球物理学実験室

1階

		食健康科学教育研究センター	高度ワークショップ室	広域マルチメディア室	準備室
		食健康科学教育研究センター	高度ワークショップ室	広域マルチメディア室	準備室
		食健康科学教育研究センター	高度ワークショップ室	広域マルチメディア室	準備室
		食健康科学教育研究センター	高度ワークショップ室	広域マルチメディア室	準備室

5階

女子トイレ	男子トイレ	A-509	演習室	教職教育学員室	学生室	演習室	人文社会実験室

4階

女子トイレ	男子トイレ	A-409	演習室	学生室	資料室	院生室	工作室

3階

女子トイレ	男子トイレ	院生室	社会科学教育資料室	A-311	社会科学会議室	歴史学資料室	社会科学実験資料室	地理学資料室

2階

女子トイレ	男子トイレ	人文社会実験室	演習室	A-211	資料室	学生室	学生室

1階

女子トイレ	男子トイレ	機械室	所長室・資料室	相談室

共同教育学部

〔 8号館 〕

数学図書室	第1セミナー室	標準本室	数学教育資料室	数学院生室	自習室	自習室	第2セミナー室	国院生室	トイレ	エレベーター	国語印刷室	機械室	大会議室
石井研究室	伊藤研究室	会議室	澤田研究室	照屋研究室	小泉研究室	小秋(正)研究室	小秋(英)研究室	濱田研究室	自習室	永由研究室	藤本研究室	言語図書室	

3階

調理実験室	白習室	栄養化学実験室		準備室	白習室	ロッカー室	トイレ	エレベーター	上原研究室	住居実習・製図室	被服構成室
	研究室	西園研究室	山口研究室	準備室	被服実験室	国語ゼミナール室	書道室	家政ゼミナール室	研究室	住居家履歴書準備室	

2階

共通実験室	準備室	ロッカー	田村研究室	研究室	教職リナーダール院生室	電気室	トイレ	エレベーター	N-109講義室	授業分析室
	準備室	視聴覚教室		子ども総合サポートセンター	N-119(教職リナーダール院生室)	子ども総合サポートセンター	研究室	機械室		

1階

中央図書館2階 総合情報メディアセンター

個別 学習室 A	個別 学習室 B	濱元 研究室	横山 研究室	センター長室
(北)				

大学会館 国際センター

3階

エレベーター	図書学習室	非常勤講師控室	会議室	資料室	相談室
	男子 トイレ	生協 事務室	陳 研究室	野田 研究室	大和・松橋 研究室
	女子 トイレ		越智 研究室	牧原 研究室	

2階

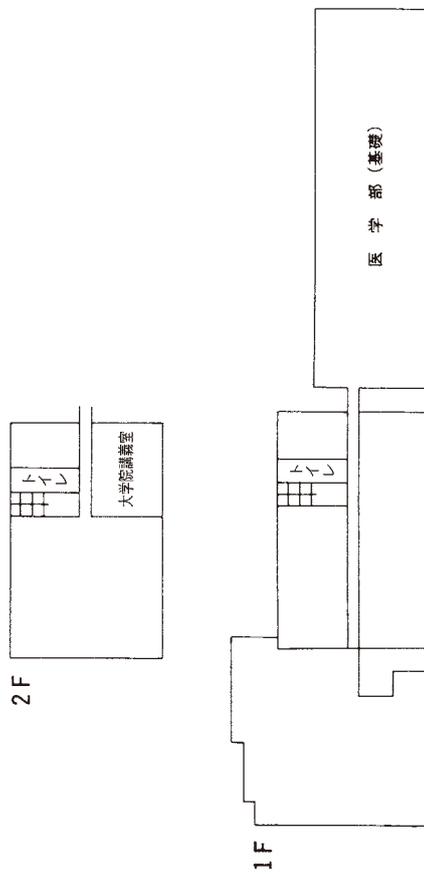
エレベーター	留学サポート室	国際交流室	コンピュータ室	教材室	講義室 1
	男子 トイレ	GUGL グローバルラウンジ	センター長室	ゼミ 1	講義室 2
	女子 トイレ				

1階

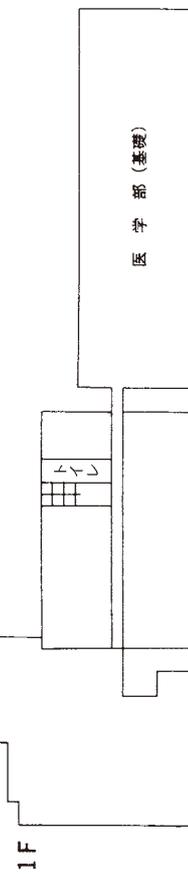
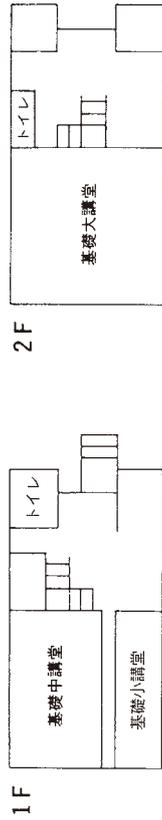
エレベーター	売 店			
	男子 トイレ	国際課		和 室
	女子 トイレ			

医学部（医学科）教室配置図

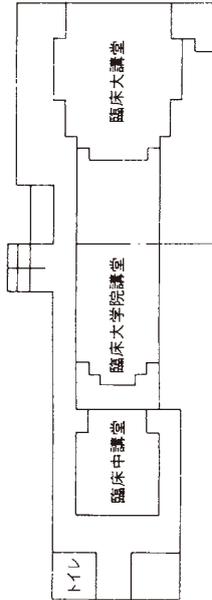
基礎医学実習棟



基礎講義棟



臨床講義棟

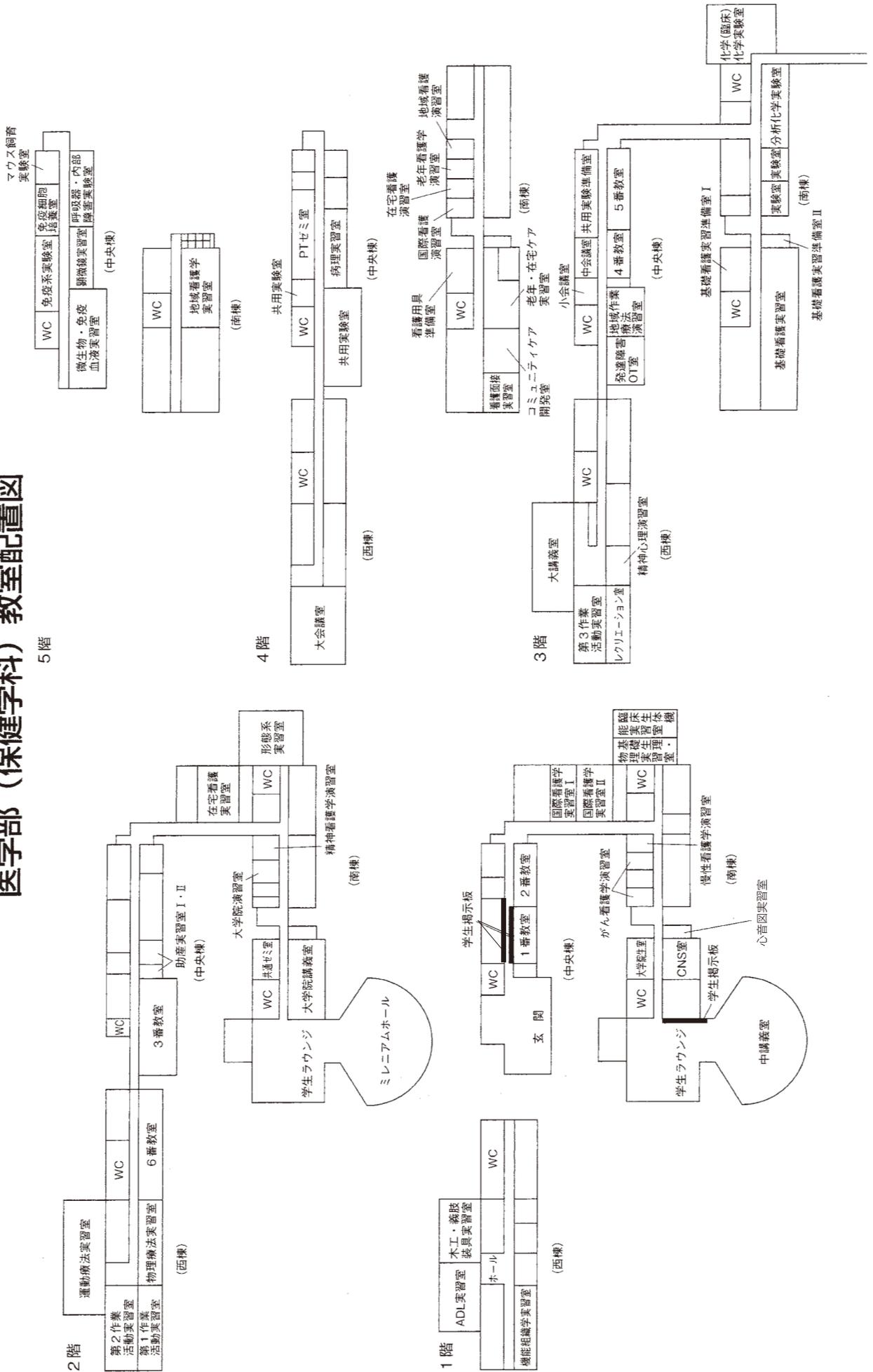


アメニティモール

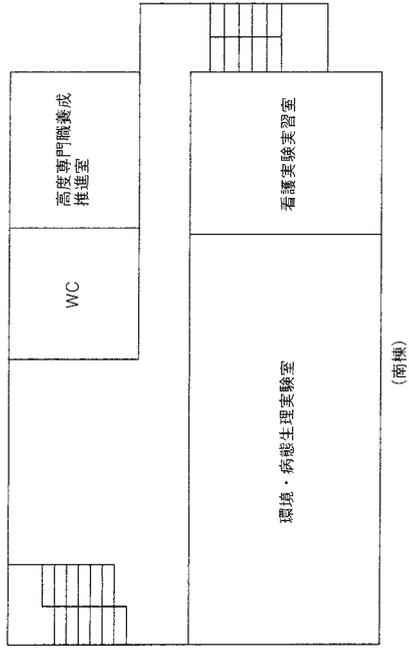


医学部 (保健学科) 教室配置図

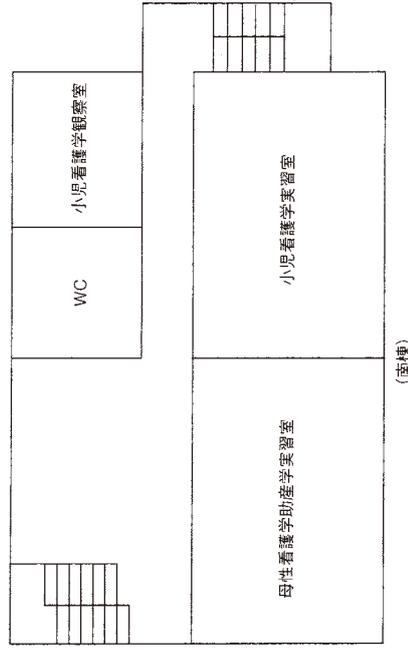
5階



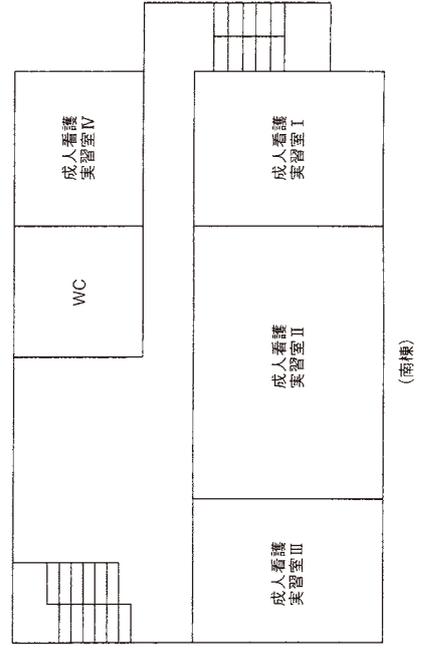
8階



7階



6階

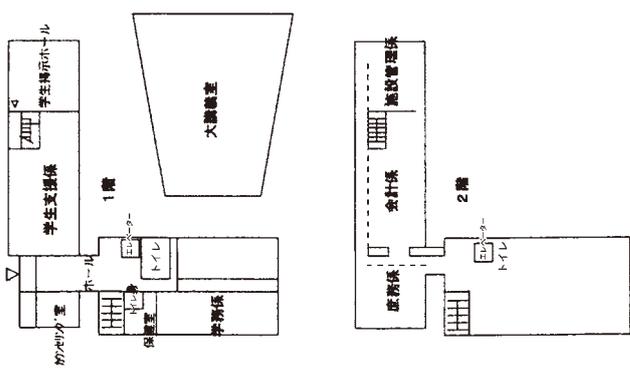


桐生地区建物配置図

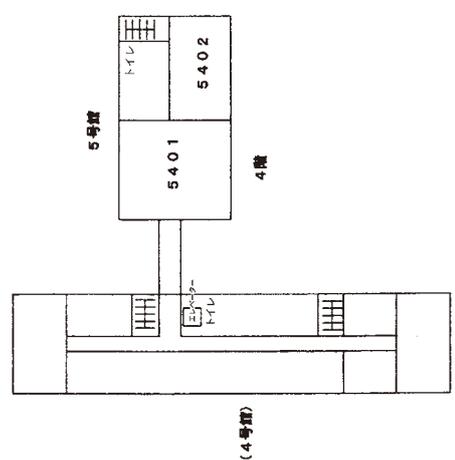


理工学部教室配置図 (桐生地区)

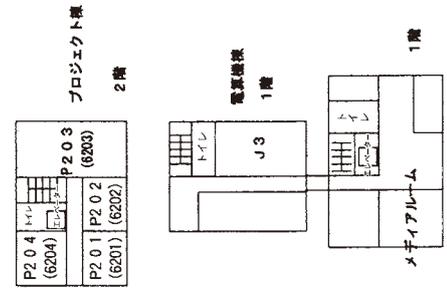
1号館



4・5号館

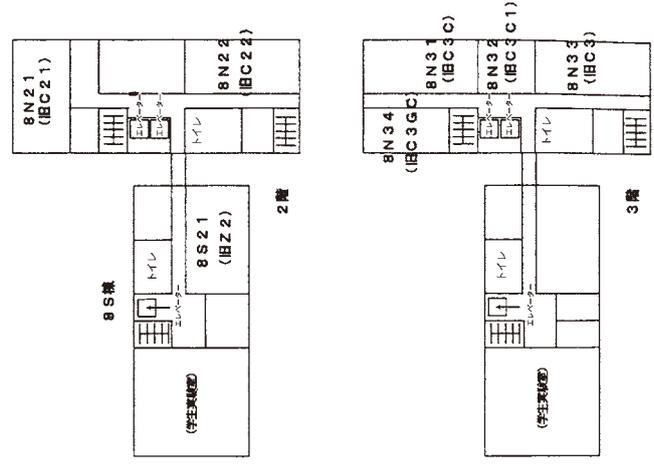


プロジェクト棟

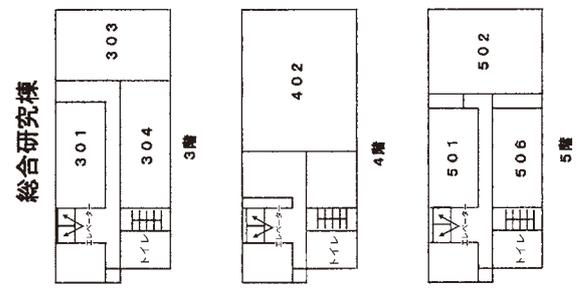


- 《学科事務室》
- 8号館 (8 N棟) 1階
 - 化学・生物化学科
 - 機械知能システム理工学科
 - 環境創生理工学科
 - 環境創生理工学科
 - 電子情報理工学科
 - 電子情報理工学科

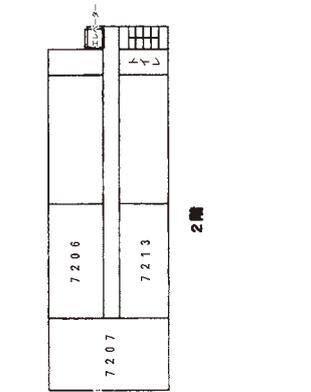
8号館



6号館



7号館



※物理実験室は、医理工共用研究棟にもあります。